



東京PCB廃棄物処理事業だより (No.49)

平成29年度事業所方針

4月3日、年度初めにあって、JESCO東京PCB処理事業所・田中所長からJESCO社員と運転委託会社の東京環境オペレーション(株)社員に平成29年度事業所方針について訓示を行いました(内容は以下の通り)。長期処理計画および長期保全計画に基づいて、安全で安定した操業と保全を確実に実行し、PCB廃棄物の早期処理完遂をめざして取り組んで行くことを全員で確認し、実現することを誓いました。



事業所方針 所長訓示

平成29年度 JESCO東京PCB処理事業所方針

1. 安全で信頼される操業体制を維持する。
2. 安全・確実な操業を確保し、長期処理計画を推進する。
3. 工程内処理残渣及び運転廃棄物の処理を促進する。
4. 処理施設の長期保全計画に基づき、健全なる設備の保全・更新に努める。

ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会

東京PCB処理事業部会を開催しました



東京PCB処理事業部会

2月27日、平成28年度第3回東京PCB処理事業部会(主査：永田勝也早稲田大学名誉教授)を開催しました。

部会では、議題1として、平成28年度下期の操業状況及び周辺環境測定結果等の報告を行いました。年度当初のトラブルにより、全体の処理に遅れが生じましたが徐々に挽回していることを確認いただきました。

議題2として、外部への環境影響はありませんが、No.1水熱分解設備にて六価クロムの濃度が上昇する現象がみられたことについて、その状況と対応を報告しました。

議題3として、平成28年度の1都3県の長期処理計画について報告しました。

議題4として、事業所内の設備に対する長期保全計画と平成29年度の設備保全予定項目について報告しました。

議題5として、リン化合物含有PCB油の実証試験機の設置に関する技術部会での検討結果を報告しました。

議題6として、当社が実施した事業所の内部技術評価の結果について、問題がなかったことを報告しました。

今後も各委員からご指導をいただき、引き続き安全・確実な処理を行ってまいります。

東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での平成29年1月～3月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	1月～3月 処理台数	操業開始からの 処理台数の累計
トランス類	59台	3,556台
コンデンサ類	2,184台	48,899台

*連結コンデンサは、内部に含まれる台数でカウントしています。

*低濃度PCB廃棄物については、平成25年6月に処理を完了いたしました。

東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業環境安全委員会を開催しました



環境安全委員会

3月30日、第37回東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業環境安全委員会（委員長：中杉修身 国立環境研究所環境リスク・健康研究センター）を開催しました。

議題1として、平成28年度下期の操業状況や今後の処理計画、また周辺環境の測定結果等について報告しました。

議題2として、東京PCB処理事業部会で報告したリン化合物含有PCB油の実証試験機の設置について、技術部会での検討結果を報告しました。

議題3として、東京PCB処理事業部会で報告したNo.1水熱分解設備の六価クロム濃度上昇現象とその対応について報告しました。

議題4として、長期保全計画と平成29年度の設備保全予定項目について報告しました。

委員会の最後に中杉委員長から、今後もトランス・コンデンサ回収について、自治体と協力して進めていくようご意見をいただきました。

いただいた貴重なご意見・ご助言等を施設運営・管理に反映し、引き続き安全・確実な処理を行ってまいります。

※環境安全委員会は公開にて開催しており、当日配布資料は当社ホームページでご覧いただけます。

http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/environment/safety_plan.html

首都圏広域協議会が開催されました

3月7日、当社東京PCB処理事業所にて第21回首都圏広域協議会が開催されました。広域協議会は、1都3県5政令市および6中核市で構成され、東京PCB廃棄物処理事業に係る広域調整に関して、安全の確保及び連絡調整を図ることを目的として開催されています。

会議では、最初に会長である東京都から、計画的処理完了期限の平成34年度末まで、あと約6年であり、各自治体では、処理対象物の掘り起し、立入指導、保管・適正処理等の指導を進めているところですが、自治体間で情報交換をしながら、期限内処理を目指して着実に前に進んでいきたい、とのご挨拶がありました。

環境省からは、PCB廃棄物等の掘り起し調査マニュアルの一部改訂、今後のPCB廃棄物処理の進捗状況をどのように把握するか、また、早期処理実現のための平成29年度の予算案等の説明がありました。

当社からは、①平成28年度の処理実績、②平成29年度受け入れ予定量、③処理の進捗状況、④1都3県に係る重点搬入計画、⑤安定器等・汚染物の処理量、等を報告しました。

出席自治体からは、今後、掘り起しでPCB廃棄物が増えた場合の、JESCO受入量の割当の考え方等について質問があり、PCBの早期処理推進に向けて有意義な意見交換がなされました。



首都圏広域協議会

平成28年度 施設見学者状況

平成28年度は、保管事業者、官公庁等、スーパーエコツアーの参加者、学生など、合計813名の方々に施設見学にお越しいただきました。

	4月-6月	7月-9月	10月-12月	1月-3月	年度計
団体数	22団体	23団体	22団体	23団体	90団体
見学者数	185名	216名	254名	158名	813名

※見学を希望される場合は、下記の連絡先までお問い合わせください。



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京PCB処理事業所
〒135-0064 江東区青海三丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）
TEL.03-3599-6023

<http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>



東京PCB廃棄物処理事業だより (No.50)

平成 29 年度東京PCB 廃棄物処理施設の定期点検を実施しました

5月15日から6月21日の間に、平成29年度の東京PCB廃棄物処理施設の定期点検を実施しました。期間中はすべての設備を停止して様々な検査・点検を行うと共に、施設の安全と安定操業を維持するための改善工事を行いました。

◆ 定期点検の安全大会開催

定期点検を無事故・無災害で行うことを目指し、定期点検の作業開始となる5月15日に安全大会を開催しました。

JESCO 社員および運転会社社員、点検・整備にあたる工事請負会社などの関係者が集合して、JESCO 所長による安全訓話、工事請負責任者による安全宣言などで、注意喚起と安全意識の高揚を図りました。



定期点検安全大会

平成 29 年度全国安全週間の取り組み

① 安全大会の開催

全国安全週間（7月1日～7日）を迎えて、7月3日に JESCO 社員および運転会社社員による平成29年度安全大会を開催しました。



安全大会

開催にあたって、JESCO 所長が以下の内容の社長メッセージを代読しました。

- まず、全国の平成28年度の労働災害による死亡者数は前年度に引き続き1,000人を下回ったことは画期的な成果であること。
- 一方で、休業災害を含む労働災害全体の数は十分な減少傾向とは言えないことから、本年度の全国安全週間のスローガンが組織ぐるみで安全に向き合うものとなったこと。
- JESCO の昨年度の休業災害は操業以来初めてゼロ件となったものの、労働災害の件数に減少傾向が見られないことから、今後もヒヤリハット、KY などの様々な安全活動を積極的に推進する必要があること。

以上の訓示後、大会の最後に全員で安全コールを唱和して安全意識の高揚を図りました。

② 安全点検の実施

全国安全週間中の活動として以下の点検を行いました。

- 7月1日（土）：家庭安全の日（家庭内の安全確認：自主活動）
- 7月2日（日）：同上
- 7月4日（火）：保護具安全の日（保護具の点検清掃：自主活動）
- 7月5日（水）：設備安全の日（設備不備の点検：自主活動）
- 7月6日（木）：職場環境整備の日（事務所、控室、倉庫の4S:自主活動）

東京 PCB 廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での平成29年4月～6月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	4月～6月 処理台数	操業開始からの 処理台数の累計
トランス類	5台	3,561台
コンデンサ類	822台	49,721台

* 連結コンデンサは、内部に含まれる台数でカウントしています。

* 低濃度 PCB 廃棄物については、平成25年6月に処理を完了いたしました。

ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会 東京 PCB 処理事業部会を開催しました



東京PCB処理事業部会

6月26日、平成29年度第1回東京PCB処理事業部会(主査:永田勝也早稲田大学名誉教授)を開催しました。

部会では、議題1として平成28年度の処理実績をご報告しました。昨年度は年度初めにトラブルがありましたが、最終的には計画を達成できたことをご確認いただきました。

議題2として、長期保全計画に基づく平成28年度の実施項目を予定通りに実施したことをご報告しました。

議題3として、平成29年度5月までの操業状況と設備保全の実施状況をご報告しました。

議題4として、昨年度実施した水熱分解設備底部の点検結果と今後の対応についてご報告しました。
議題5として、水熱分解設備 No.1 の安全弁管台の滲みについて、その状況と対応をご報告しました。
議題6として、水熱分解設備 No.2 の混合器の圧力上昇について、その状況と対応をご報告しました。
議題7として、リン含有PCBの前処理設備設置に伴う施設改造について、状況をご報告しました。
議題8として、今年度の事業部会の開催時期と議題についてご報告しました。
今後も各委員からご指導を頂き、引き続き安全・確実な処理を行ってまいります。

産業医による熱中症講話を開催しました

6月15日、JESCO 社員および運転会社社員を対象に産業医(テレコムセンタービルクリニック 大矢院長)による熱中症講話を開催しました。



大矢産業医

熱中症は、気温・湿度が高く風が弱いなど、体温調整に障害が出やすい環境下で高齢者・肥満者・運動不足の人などが特に発症しやすいとされています。

体の熱を放出する大切さに始まり、発症のメカニズムと応急処置、予防用法、更にJESCO 特有の防護服を使用する現場での作業時間管理の大切さなどを漫画と分かりやすいことばでお話しいただきました。

また、天気予報などで熱中症指数として使われているWBGT(*)の数値と熱中症搬送者数の関係事例から、気温は同じでも湿度が高いと劇的に発症数が増加することなどが紹介され、改めてWBGT 値の重要性が理解できる講話でした。

(*) WBGT= 気温と湿度との関係で熱中症の危険度を示したもの。暑さ指数とも呼ばれる。



聴講者

第1四半期(4月-6月)施設見学状況

平成29年4月から6月までの間に、保管事業者、官公庁およびスーパーエコタウン見学会の参加者、学生等、18団体135名の方々に施設見学にお越しいただきました。

	4月	5月	6月	計
団体数	7団体	3団体	8団体	18団体
見学者数	27名	45名	63名	135名

※見学を希望される場合は、下記の連絡先までお問い合わせください。



中学生の見学者



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京PCB処理事業所
〒135-0064 江東区青海三丁目地先(中央防波堤内側埋立地内)
TEL03-3599-6023
<http://www.iesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>



東京PCB廃棄物処理事業だより (No.51)

東京 PCB 廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での平成29年7月～9月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	7月～9月 処理台数	操業開始からの 処理台数の累計
トランス類	47台	3,608台
コンデンサ類	2,109台	51,830台

* 連結コンデンサは、内部に含まれる台数でカウントしています。

* 低濃度 PCB 廃棄物については、平成25年6月に処理を完了いたしました。

環境報告書 2017 を発行しました

平成28年度の当社の事業活動に係わる環境配慮の取り組みをまとめた『環境報告書 2017』を9月に発行しました。

この報告書は、当社の環境と安全に対する取り組みを積極的にお知らせするために、毎年発行しているものです。また、環境保全に加えて、トピックスとして2016年PCB特措法を踏まえた当社の対応を掲載するとともに、PCB廃棄物の処理実績、労働安全衛生、保安防災、従業員教育、地域とのコミュニケーション、PCB廃棄物処理事業検討委員会等についても記載しています。発行に当たっては、第三者審査を実施し、開示情報の信頼性を高めています。『環境報告書 2017』は、当社のHPにも掲載しておりますので、是非ご覧ください。 (<http://www.jesconet.co.jp/company/pdf/environrep2017.pdf>)



環境報告書 2017

自衛消防活動審査会に参加しました



屋内消火栓操法の実演



表彰状

9月15日、東京消防庁臨港消防署において、平成29年度自衛消防活動審査会が開催されました。

審査会には当事業所の代表として、運転会社の東京環境オペレーション(株)社員2名が参加し、屋内消火栓操法を実演しました。

審査の結果、的確かつ機敏な操法動作が評価され、敢闘賞を受賞しました。

救命講習会を開催しました



救命講習会

10月6日、臨港消防署救急係の方を講師にお招きして、JESCO 社員および運転会社社員の計14名を対象に救命講習会を開催しました。

講習会では、胸骨圧迫をはじめ人工呼吸およびAED(自動体外式除細動器)による心肺蘇生法について人形を用いた実地訓練を行い、また、気道異物除去法や応急手当についての講義を聴講しました。

緊急事態に遭遇した場合を想定した訓練を通じて、救急・救命の重要性を再認識するとともに、的確な応急対応の知識と技術を習得する有意義な講習会となりました。

5月～9月 クールビズを実施しました

JESCOでは、地球温暖化対策および節電への取り組みとして、以下のとおり全社でクールビズを実施しました。

1. 実施時期
平成29年5月1日（月）から9月30日（土）までの間
2. 服装について
原則、ノーネクタイ・ノー上着
3. 節電の取り組みについて
 - (1) 室内温度を適温（原則 28℃）に保つ
 - (2) 昼休み時間中の消灯
 - (3) 退社時のPC、コピー機、電灯等の電源切断などを徹底
4. 10月について

10月においても、暑い日は室温設定の適温管理と各自の判断により引き続き服装についても実施しています。



クールビズ実施掲示

ゴーヤ栽培で遮光遮熱対策を実施しました

夏場の省エネ対策の一環として、日差しが射し込む1階事務室南東面の窓に、遮光遮熱を目的にゴーヤを栽培しました。

朝夕の水やりからプランター内の雑草取りなど毎日欠かさず栽培に取り組んだ甲斐あって“緑のカーテン”に成長したゴーヤによって一定の省エネ効果をあげることができました。



ゴーヤの栽培



ゴーヤ

自主清掃を実施しています



歩道の清掃

当事業所では、地域とのコミュニケーション活動の一環として、毎月1回（8月を除く）「自主清掃」と銘打って、JESCOと運転会社合同で、当施設および隣接する公道の歩道に捨てられているペットボトル、缶、ビンおよびその他のゴミ等を回収する活動を行っております。今後も引き続き地域の美化に貢献できるよう活動を継続してまいります。



施設外周の清掃

第2四半期（7月 - 9月）施設見学状況

平成29年7月から9月までの間に、保管事業者、官公庁およびスーパーエコタウン見学会の参加者等、23団体 251名の方々に施設見学にお越しいただきました。

	7月	8月	9月	計
団体数	8団体	8団体	7団体	23団体
見学者数	94名	29名	128名	251名



スーパーエコタウン見学

※見学を希望される場合は、下記の連絡先までお問い合わせください。



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京PCB処理事業所
〒135-0064 江東区青海三丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）
TEL03-3599-6023
<http://www.iesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>